

# 「附属寄席を開こう～大喜利に挑戦！～」(9時間扱い)

授業者 澤田 仁志

《単元について》

- 目標：○落語を読んだり、見たり、聞いたりしながら昔の人のものの見方や感じ方を知るとともに、言葉のリズムを味わったり古典の世界に触れたりすることができるようにする。
- 相手を楽しませるために、表現の効果などについて考えながら大喜利の脚本を書いたり表現の仕方などに着目して助言し合ったりできるようにするとともに、相手を楽しませるための話し方を工夫したり、おもしろさをとらえながら聞いたりすることができるようにする。

本単元は、「書く」単元に「伝統的な言語文化」と「話すこと・聞くこと」の要素も取り入れ、複合的に付けたい力を身に付けていくことをねらいとしている。単元を貫く言語活動として、「附属寄席を開こう～大喜利に挑戦！～」を設定する。これは、寄席の最後に演じられる大喜利（主に司会者の出題に対して、ひねりを効かせて答える、といった言葉遊びゲームのうちの「とんち」を指す）を開くために、二つの言語活動を展開するものである。一つは、司会や回答も含んだ全体を集団話芸として創作し、脚本化すること。もう一つは、司会などの役割を明確にして聞き手を楽しませるために話し方などを工夫して演じる大喜利を公開することである。「大喜利を脚本化し、隣のクラス（同世代）の子供たちが楽しめるような寄席を開く」という目的に向けて、子供が付けたい力を育みながら主体的に学習を進めていくように支援していきたい。

また、視点を近年話題となっている全国学力・学習状況調査に向けて考えてみる。昨年度の全国学力・学習状況調査の結果からは、「司会の役割を果たし、目的や意図に応じて進行していく力」や「文章の効果を考えながら物語などを創作する力」が求められていた。今年度は、「とんち話を読み聞かせるために登場人物の気持ちや話自体のおもしろさを読み取ったり考えたりする力」を見る問題が出題されている。本単元を設定することで、これらの力を身に付けることにもつながっていくのではないかと考える。

《単元の評価規準》

|    |   |                |
|----|---|----------------|
| 評1 | 進んで大喜利の脚本を書いたり、大喜利を演じたりしながら、聞き手を楽しませるために助言し合い、よりよい大喜利をつくろうとしている。      | 【関心・意欲・態度】     |
| 評2 | 相手を楽しませるために、表現の効果を考えながら大喜利の脚本を書いたり、表現の仕方などに着目して助言し合ったりしている。           | 【書くこと】         |
| 評3 | 相手を楽しませるために、考えた事柄が明確に伝わるように、話の展開や構成を工夫しながら話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりしている。 | 【話すこと・聞くこと】    |
| 評4 | 落語を読んだり、見たり、聞いたりしながら昔の人のものの見方や感じ方を知るとともに、言葉のリズムを味わったり古典の世界に触れたりしている。  | 【言語への知識・理解・技能】 |

《本単元におけるアクティブ・ラーニングで育てていく資質・能力》

自主的・主体的な課題解決

- ・課題を明確にして、解決の見通しをもつ
- ・考えを表現する
- ・考えや情報を整理する

本単元における活動の姿

大喜利の脚本を作成するために、司会と回答者の役割を理解し、お題やその回答、それに対する司会の返しを考えている。脚本を作成する際に、聞き手を楽しませるための、回答の工夫を多く考えて表現する。友達の考えや、他のグループの脚本と比べながら、自分の作成した脚本を修正したり、改善したりする。

協同的な課題解決

- ・協同する（相互補完型）（練り合い型）
- ・協同することの価値に気付く

本単元における活動の姿

互いの脚本のイメージを交流し合う。作成した脚本を交流しながら、他のグループの良いところを伝えたり、自分のグループの脚本の良いところを認識したりする。聞き手が自分たちの大喜利に対して、喜んでくれたり笑ってくれていることに自信を深め、一つの作品を友達と創作することに価値を見出している。

《研究との関わり》

|          | 自主的・主体的な課題解決のために  | 協同的な課題解決のために  |
|----------|---|---|
| 課題設定の在り方 | <p>◎単元を貫く言語活動（課題）の設定</p> <p>単元を貫く言語活動として、「附属寄席を開こう～大喜利に挑戦！～」を設定する。さらに相手意識・目的意識を明確にするために「隣のクラスの友達に寄席を開く」ことにする。大喜利の内容を考えていくときに同世代であれば、楽しむポイントがわかりやすく、考えやすいのではないかと考えた。また、よりイメージを深めて課題解決の見通しを図ることができるように、大喜利の映像を見た、ラジオ番組を聴いたりする場を設ける。このことにより、子供は主体的に学ぶ見通しと必要感をもって学習に臨むであろうと考える。</p> | <p>◎他者と協同しながら学んでいく必要感をもつことができる課題の設定</p> <p>国語の学習の中で、考えたことを交流し、考えを広げたり深めたりするために、練り合い型の協同的な学びは有効である。また、創作の過程の中で、仲間と知恵を出し合ったり、グループで一つの作品を創作したりするような学習も有効である。</p> <p>そこで、授業の中で、「協同的に課題解決した方がよさそうだ」「友達と一緒に学習を進めていきたい」という見通しや思いをもつことができるような課題を設定する。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>◎ <b>単元を貫く言語活動に向かい、付けたい力を段階的に身に付けていく一単位時間の課題の設定</b></p> <p>学習の見通しを明確にして、子供が主体的に課題解決していくことができるように、単元を貫く言語活動に向かう段階的な言語活動（一単位時間の課題）を工夫する。</p> <p>一単位時間の課題例<br/>☆聞き手を楽しませるお題や回答を考えよう。<br/>☆司会の役割を明確にして、脚本を創作しよう。など</p>  | <p>協同する必要感をもつことができる課題例<br/>☆聞き手を楽しませるお題や回答を考えて、交流しよう。<br/>☆各グループで、脚本作りをしよう。<br/>☆脚本交流会を開こう<br/>☆話し方を工夫して楽しい大喜利を開こう など</p>  |
| <p>振り返りの在り方</p> <p>◎ <b>自分の学びを改善・確信するための自己評価</b></p> <p>協同的な学びを展開した上で、自己評価の時間を設けることで、子供は自分の振り返りの視点を、考えの共通点や相違点を見出しながら、学び合ってきた経験を基にもつことができる。視点を明確にした子供は、より客観的に自己評価をしたり、学びの見通しを明確にしたりしながら、次の課題を見出し、主体的に学んでいくことにつながる。</p> | <p>◎ <b>学習成果を共有し、協同して学ぶことの価値を感じることができる相互評価や振り返りの視点の設定</b></p> <p>仲間とともに、学習をすることのよさを自覚できるように互いに作成した脚本を交流したり、ゴールの言語活動を協力して実行する場を設定する。その中で互いの学習を評価（相互評価）したり、協同して学んできたことに対する振り返りの視点を設定することで、より協同して学ぶ価値を見つけていくことができると考える。</p> |

《単元のグランドデザイン》

|  |                                       |  |
|--|---------------------------------------|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"><b>単元を貫く言語活動</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">（附属大喜利を開こう）</p> | <p><b>開始期</b><br/>第一次<br/>(1時)</p>    | <p>1時間目<br/>○単元の目的と学習の道筋を話し合う。<br/>○落語に関する文章を読んだり、DVDを見たりしながら、興味関心をもつとともに、表現方法を知る。<br/>○単元を貫く課題への目的と見通しをもつ。(隣のクラスに寄席を開く)</p> <p>単元を貫く課題の設定<br/>DVDなどを見たり、TVの大喜利の番組の話をしながら、どんな学習をするかの見通しをもつ。→大喜利をつくって隣のクラスに寄席を開こう！</p>  |
|  | <p><b>展開期</b><br/>第二次<br/>(2～6時)</p>  | <p>2時間目<br/>○大喜利のテーマを選ぶ視点を話し合う。<br/>○大喜利のテーマにふさわしいものや、実際にどんな回答がよいのかを考える。</p> <p>3・4時間目<br/>○脚本作りに向けて、司会の役割、回答者の役割などについて考えを話し合う。<br/>○落語の資料や大喜利の資料を読み、脚本作りのイメージをもち、テーマを決めたり、役割分担をする。</p> <p>一単位時間の課題（自主・主体）の設定。<br/>→司会や解答者の役割について考えながら、脚本作りのイメージをもとう。</p> <p>5・6時間目（本時時6間目）<br/>○どのような順番で、どのように聞き手を楽しませるかを考えながら、脚本作りを進める。<br/>○各グループと脚本の内容を交流し、手直しをしたり、実際の発表の練習をしたりする。</p> <p>自己評価「今日の学習を振り返って、脚本を再構成しよう。」</p> |
|  | <p><b>まとめ期</b><br/>第三次<br/>(7～9時)</p> | <p>7時間目<br/>○グループごとに、寄席に向けて練習をする。</p> <p>協同する必要感をもつ課題→脚本のイメージに近づくように、話し方に気を付けて練習をしよう。</p> <p>8・9時間目<br/>○互いの発表を聞き合い、感想を交流したり、自分たちの発表の改善を行う。<br/>○隣のクラスに向けて寄席を開く。</p> <p>相互評価・振り返り（協同）→互いに発表し合い、よいところを見つける場の設定。</p> <p>相互評価・振り返り（協同）→互いのクラスの寄席を見合い、良いところ、おもしろかったところ、などを相互評価する場の設定。</p>  |

《 単元計画 》

第1次（開始期） 「寄席や寄席の中の大喜利について知ろう！」（1時間）

| 学習活動 (○) と子供の姿   | 教師の支援 (☆) と評価 (◇)  |
|--|--|
| <p>○ 寄席や落語・大喜利について知っていることを交流したり、実際に、回答を考えたりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>落語は、4年生の時に学習して、みんなで作って演じたね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>笑点で大喜利を毎週見ているよ。楽しいよね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>大喜利は、江戸時代からあったんだね…。昔からお笑いはあったんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>昔から伝わるものが、今風になってTVとかで楽しまれているなんてすごいね。</p> </div> </div> <p>○ 読み物資料や映像資料と出会い、興味をもつとともに、どのように進めていくことがよいか学習の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>落語ってアニメにもなっているんだね。昔から大喜利ってあったんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>TVのない時代は、みんな寄席に行って笑いを求めていたんだね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>今回は、その場で答えを考えるんじゃなくて人に見せるために、大喜利全体をつくるんだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>なんだか難しそうだけど、グループで作るならできそうな気がしてきたよ。2組に見せたらどうかかな？</p> </div> </div> <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>隣のクラスを楽しませるために、大喜利の脚本を作って寄席を開こう！</b></p> </div> | <p>◇ 今も伝わる寄席・落語などについて知り、昔の人の生活や考え方などにふれている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評4</span></p> <p>☆ 大喜利の内容を把握したり、学習の見通しをもつことができるように、感想や疑問を交流する場を設ける。</p> <p>◇ 進んで題材資料を読んだり、見たりして感想を積極的に交流し、今後の学びについて見通しをもとうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評1</span></p> <p><b>☆ 学習の見通しをもつための、「附属寄席」「大喜利」などの単元のゴールを意識できる言語活動との出会いを工夫する。【単元を貫く課題の設定】</b></p> <p>☆ 学習のイメージをもつことができるように、大喜利の脚本の見本や実際にどのように学習するのか、学習計画を立てながら意欲付けを図る。</p> |

第2次（展開期） 「演出家になって脚本作りをしよう！」（5時間）

| 学習活動 (○) と子供の姿  | 教師の支援 (☆) と評価 (◇)  |
|---|--|
| <p>○ 大喜利のテーマを選ぶ視点について話し合ったり、実際に回答したりしながら、どのような内容がよいか考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>お題を決めて川柳を作ったり、だじゃれを入れた落ちを考えたりすればいいのかな？難しそう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>こんな学校は困る！というテーマにおもしろい答えを付けるのも楽しそう。</p> </div> </div> <p>○ 脚本作りに向けて、司会や回答者の役割などについて考えを出し合い、脚本作りのイメージをもって創作する。</p> <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>司会・回答者の役割を考えながら脚本作りをしていこう！</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>笑点で言うとか歌丸さんだね。笑わせるの上手だね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>座布団のあげ方と取り方も考えるとおもしろいね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>回答者もわざとあまり受けないことを言ったりするといいのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>とにかく、笑わせる回答や「おお！うまい！」と思わせる回答でもいいよね。</p> </div> </div> <p>○ 各役割や、テーマの順序など、大喜利全体の構成を考えながら、脚本作りを進める。</p> <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>みんなが楽しめるような構成を考えよう。</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>テーマの順番も大切だよな。どうしたらいいかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>わかりやすいテーマからおもしろいテーマへの流れとか…</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まずは、一人一人が決めたテーマに対してのネタ作りを進めていこうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>そうだね。そして、司会者との掛け合いを考えようよ。</p> </div> </div> | <p>◇ 聞き手を楽しませるという目的をもち、考えたことや自分の経験から大喜利の脚本を書くためのテーマ集めをしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評2</span></p> <p>☆ 自ら課題を解決することができるような（自力で追究していくことができるような）テーマ例や回答例を提示する。</p> <p>◇ 聞き手を楽しませるために、考えていることを明確にし、表現の効果などを考えながら脚本を書いている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評2</span></p> <p><b>☆ 脚本作りのイメージをもつことができるよう、司会や回答者の役割について考えながら脚本作りを進めることができる課題を設定する。【一単位時間の課題（自主・主体）】</b></p> <p>☆ 脚本作りを見通しをもって主体的に進めることができるように、フォーマットを例示したり、個人のワークシート、グループ用のワークシートなどを用意する。</p> <p>☆ 全体の構成を考えることができるように、司会者の役割として、回答者との掛け合いが重要であることを、全体の場で確認したり、教師が実演したりする。</p> |

○ 聞き手が楽しいと思うような、表現の効果、司会と回答者の掛け合いなどを工夫しながら脚本作りを進める。

聞き手を楽しませるために、表現の効果や掛け合いに着目してアレンジしていこう。

答えに対しての司会者の返しはとても難しそうだね。

うん。全部が「おもしろい！座布団一枚！」は見ている人が…。

そうだね。しらけたりすべったりして、座布団を持って行かれるのもおもしろさだね。

そうすると、おもしろいのと受けないのを交互に入れるとか

見ている人が楽しめるように効果を考えていくことが重要だね。しーんとしているところに、うまいのが来て「助かった！座布団3枚あげちゃう！」とか…。他のグループも見たいね。

本時 各グループの脚本の内容を演じたり交流したりし、互いに助言し合ったり、脚本の手直しをしたりする。

各グループで演技や脚本を交流しながら助言し合い、寄席に向けてよりよい大喜利の脚本を仕上げよう。

お題と答えのおもしろさをまずは、見てこようよ。

僕たちの課題は、司会の言葉のかけ方だから、それについて見てこよう。

司会が上手に掛け合いできるように順番を工夫しているグループがあるよ。

司会の言葉のかけ方が重要なんだね。参考になったよ。

司会の役割の大切さがわかったね。いよいよ見ている人を笑わせるための話し方や演技方の工夫を考えるよ。

◇ 聞き手を楽しませるために、表現の効果などについて確かめたり工夫したりしながら脚本を書いている。 [評2]

☆ 「隣のクラスの友達を楽しませる」という目的達成のために、表現の効果や掛け合いなどをグループで工夫しながら脚本作りを進めることができる課題を設定する。【協同する必要感をもつ課題】

☆ 表現の効果を工夫しながら、創作を進めることができるように、司会と回答者の掛け合いについて、自分たちのグループの脚本を振り返る場を設ける。【自分の学びを修正・改善するための自己評価（自主的・主体的）】

◇ お互いの脚本を交流して、考えたことを発表し合い、表現の仕方や効果などについて確かめたり、助言し合ったりしている。 [評2]

☆ 司会者の役割について考えながら脚本を交流し、よりよいものを創作する課題を設定する。【協同する必要感をもつ課題】

☆ 交流したことに基づいて修正・改善を行うことができるように、司会と回答者の掛け合いについて、自分たちのグループの脚本を振り返る場を設ける。【自分の学びを修正・改善するための自己評価（自主的・主体的）】

### 第3次（まとめ期）「附属寄席を開こう～大喜利に挑戦～！」（3時間）

#### 学習活動 (○) と子供の姿

○ 第2次で学習したことを活用し、グループごとに寄席に向けた練習をする。

見ている人が笑えるように脚本をしっかり覚えなきゃね。

特に落ちの部分を強調して話すには声を大きくするか、逆に小さくするか…。

○ 互いの発表を聞き合い、感想を交流したり、自分たちの発表の改善を行う。

○班は、司会者と回答者の間の取り方が上手だね。

おもしろい答えと受けない答えの順番を工夫していてもおもしろいね。

恥ずかしくなっちゃったら、おもしろさは半減するから、気をつけなよ。

その答えに応じた、話し方とか声の出し方があることがわかった。真似しよう。

○ 隣のクラス向けの寄席を開催する。

附属寄席開催～隣のクラスに笑いの渦を巻き起こそう！

たくさん笑ってくれてうれしかったね。昔の寄席はどんな雰囲気だったのかな。

受けない答えなのに、笑いがとれたのはやっぱり司会の効果だったね。

みんなで大喜利を創作して演じるのは楽しかったね。昔の人はこうやって生活を楽しむ工夫をしていたんだね。

#### 教師の支援 (☆) と評価 (◇)

◇ 相手を楽しませるために、話の展開や構成を工夫しながら、場に応じて話したり、おもしろさをとらえながら聞いたりしている。 [評3]

☆ 聞き手を意識した話し方や、掛け合いの仕方など、演じたことに対して、自分たちのグループや友達のグループの発表を振り返る場を設ける。【学習成果を共有し、協同して学ぶことの価値を感じることができる相互評価や振り返り（協同的）】

☆ 聞き手を意識した話し方、司会との間の取り方など、話し方を意識することを働きかける。

◇ 大喜利を演じたり、見たり、聞いたりしながら昔から伝わる、言葉の世界を楽しんでいる。 [評4]

☆ 進んで大喜利を演じたり、見たり聞いたりしながら、言葉の世界を楽しむことができるような課題を設定する。【一単位時間の課題（自主的・主体的）（※ さらに学びを楽しむことができるよう、「ラジオやテレビの大喜利番組に考えた回答を応募しよう」などの継続的課題の提示も考えられる）】

本時の目標

- 聞き手を楽しませるための表現の効果（司会の役割など）に着目し、表現の仕方や内容について助言し合いながら自分のグループの大喜利の脚本を見直すことができるようにする。

| 学習活動 (○) と子供の姿  | 教師の支援 (☆) と評価 (◇)  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返る。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">司会と答えの掛け合いとか、答えの順番を考えたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">今日は、他のグループの脚本を見せてもらったんだよね。</div> </li> <li>○ 本時の学習の見通しをもつ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 目的を明確にすることができるよう、単元を貫く言語活動を確認することを促す。</li> <li>☆ <u>課題を提示する。</u><br/> <u>【自主・主体】寄席に向けて脚本を仕上げよう。</u><br/> <u>【協同】互いの脚本を助言し合おう。</u><br/> <u>【自主・協同の要素を含んだ課題】</u></li> </ul>   |
| <p>各グループで脚本を交流しながら助言し合い、寄席に向けて大喜利の脚本を見直していこう。</p>   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各グループで発表し合ったり脚本を交流したりしながら、おもしろいところや参考になるところを見付ける。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">お題と答えのおもしろさとか工夫を見てこよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">僕たちは、司会と答えの掛け合いが課題だからそこを見てこようよ。</div> </li> <li>○ グループのお題、落ちが考えやすそうだね。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">○グループのお題、落ちが考えやすそうだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">司会者の言葉も面白いグループがあったよ。</div> </li> <li>○ 各グループの工夫点や、おもしろいところを全体で交流する。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">司会が上手に掛け合いできるように、面白い答えとしらげる答えの順番を工夫しているグループがあるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">わざとばかばかしい答えを言うのも効果的だね。</div> </li> <li>○ 面白い答えも、わざと受けない答えも、それを生かすのは司会の言葉だったり座布団のタイミングだったりするんだね。司会は重要だ。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">各グループの脚本を見てみると、司会の役割が重要だと言うことがわかるね。もう一度司会の役割に着目して互いの脚本を見てこよう。</div> </li> <li>○ 司会の役割に着目して助言し合う。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">わざとセリフを言わないで、無言で「はい次の人！」というようにやりとりがいいね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">司会の人のお声の大きさまで脚本の中に書いてある。すごい…。</div> </li> <li>○ 司会が、受けない答えの連発に「誰かたすけてよ～」と言っていい答えに当てるとか、上手…。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">司会が、受けない答えの連発に「誰かたすけてよ～」と言っていい答えに当てるとか、上手…。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">なんとなくわかってきた。自分たちのグループをもう一度みてみよう。</div> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 互いの脚本を交流して、考えたことを発表し合い、表現の仕方や効果などについて確かめたり、助言し合ったりしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評2</span></li> <li>☆ 脚本の交流をするためのイメージ作りができるよう、特定のグループが実演する場を設けたり、自由に実演できるような時間を作ったりする。</li> <li>☆ 互いの脚本を、交流する場を設ける。</li> <li>☆ それぞれの脚本を拡大するなどして、互いに交流しやすくなるような環境作りを行う。</li> <li>☆ 交流の様子を見取り、着眼点の良い（司会の役割の大切さに気付いている）子供の発言を紹介したり、学習が停滞している子供には、意図的な交流を促したりする。</li> <li>☆ 交流の結果、子供たちが感じたことや考えたことを明確にすることができるように、各グループのつぶやきや書いてあることを板書にまとめたり、全体交流の場を設けたりしながら、司会の役割に着目することを働きかける。</li> <li>☆ 視点を明確にして交流することができるように、司会の言葉に着目して交流することを働きかける。</li> <li>☆ 互いの助言の視点がずれていると見取った場合は、適切な助言を行っている子供の発言を紹介したり、理由を尋ねたりする。</li> </ul> |
| <p>2学期は、寄席の開催だね。そのためにも脚本をよりよくしたり練習したりしてみよう！</p>   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流したことに基づいて、脚本を見直す。<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">なるほど、ここは、面白くない！じゃなくて無言にしてみよう…。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">無言の時の間の取り方、練習してみようか。</div> </li> <li>○ さっきまでの脚本より面白くなってきた気がするね！<br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">さっきまでの脚本より面白くなってきた気がするね！</div> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ <u>交流したことに基づいて、修正・改善を行うことができるように、司会と回答者の掛け合いについて、自分たちのグループの脚本を振り返ったり演じたりする場を設ける。【自分の学びを修正・改善するための自己評価（自主的・主体的）】</u></li> </ul>  |